

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 7 . 4 . 1 4

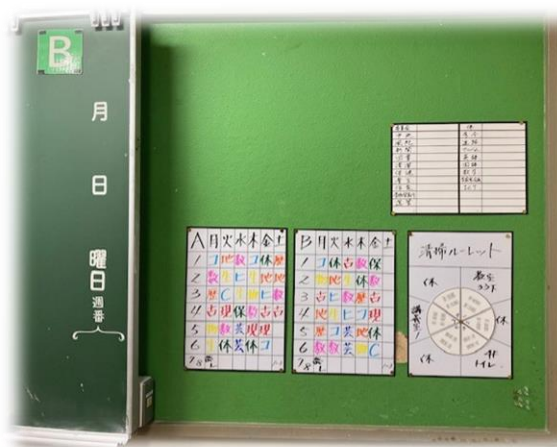
発行ナンバー 1 1 6 9 号

新年度スタート

新年度がスタートしました。

先月、3年生を卒業させたばかりですが、すぐに1年生の担任をすることになりました（教員生活28年目、もう何度目の担任か分かりません・笑）。しかし、何年経っても新入生を迎え入れる独特の緊張感は変わりません。今年もそんな雰囲気の中でのスタートとなりました。

初任校で始めて担任をさせていただいた時に教わったことで、今でも継続していることがあります。それは教室内に必ず手作りで（手書きで）作成したものを掲示する、ということ・・・



（パソコン等を利用して）簡単に資料等が作成できるようになっても、教室という空間には必ず手作りのものがあった方が良い（小学校の先生方の教室作りなどを参考にした方が良い）という教え。私のクラス、こんな感じになっています。

（51歳が担任のクラスではないですね・・・）。

新たな1年・・・

母校「後輩」達と共に、良いクラスにしたいと思います（笑）。

苦しんだ分・・・

どうやら市高の新入部員（選手）は12名のようにです（マネはこれから）。自分達の代だけで試合が出来る人数が入部してきてくれて大変嬉しく思います（今、公立高校新入部員者数の「基準」はそこではないでしょうか）。ただこの数字、市高の野球部顧問としては複雑な思いがあります。部員数が高校入試の結果に大きく左右されているからです（市高の入試倍率は毎年約2倍です・・・）。

● 選手数

3年生 6名 (① 31 ② 11)

2年生 10名 (① 28 ② 15)

1年生 12名 (① 26 ② 18)

上の選手数をご覧ください。その隣、①や②の数字が何を示しているかお分かりでしょうか。①は中学校時代、野球をしていた記載のあった受験者数、②はそのうち合格した受験者数、そして一番左がその学年の現部員数となっています（野球を続けない子も当然います）。この数字を見ると、本来なら現3年生の部員数が一番多くても不思議ではない数字なのです。（31名中11名しか受からなかった・・・）

受験する高校を他校に変えたのなら（顧問として）諦めがつきます。ただ、最後まで市高野球部で活動したいと希望し受験してきてくれた子供達と、不合格という結果で別れなければならない・・・これは、顧問である私にも精神的なダメージが・・・

（このような受験結果だったので）現3年生は自分達の代だけで練習試合等をいっさいすることなく今に至っています。

3年生、苦しんだ分、最後良い思いをしましょう！精一杯サポートします。市高の受験を考えている中学生、今から勉強中心の生活をお願いします。